

〒369-0212 埼玉県深谷市櫛挽 15-2

電話 048-585-0605

FAX 048-585-0562

Mail san-ai@isis.ocn.ne.jp

URL <http://www.san-ai-jidouyougo.net>

社会福祉法人 三愛学園

児童養護施設 さんあい

第126号

2019年 4月25日

三愛学園 広報タスク



「神を愛する」とは

さんあい施設長 高瀬一使徒



「三愛主義」を子どもたちに理解してもらうには、筋を立てて説明する必要があります。特に「神を愛す」ということは、子どもたちだけでなく私たち日本人にはすんなり入ってこないことなのではないでしょうか？

見えない存在、会話できない存在をどうして愛することができるのでしょうか？ 或いは、罰が当たるから愛さないといけない？ 「そもそもそんな人間に災いを下す神なんか無視すればいいじゃん！」と思ってしまいます。その通り、まったくの正論です。

そもそも聖書には、「まず神様が、私たちを愛しておられる。」ということが書かれています。ですので、私たちが愛したから、その見返りに私たちを愛しているという事ではありません。すべての人は、神様に愛される権利をもっています。さんあいの子どもたち一人ひとりにも与えられています。だから私たちは誰でも神様に思いっきり甘えることができるのです。

でも、甘えるのには相手との関係が必要です。相手を信頼していかなければ甘えられません。さんあいの子どもたちにを見ていると、上手に職員に甘えられる子とそうでない子がいます。甘え上手な子は、職員を信頼しています。だから素の自分で甘えてきます。甘えられない子は、職員との距離があり信頼関係が不十分と言えるかもしれません。

「過適応」という言葉があります。さんあいに一時保護される児童の中には、当然のことですが突然の入所で職員や回りの子を信頼できていません。そのために良い子を演じるのであります。入所してきても不安な様子を見せず、職員に対し気持ちの良いあいさつや返事をすることは「過適応」の可能性があります。ですから素の自分を出してわがままをいったり、職員に反抗することは甘えの第一歩、信頼関係の第一歩と言えます。

「神を愛す」とは、碎いて言うと「神を信頼する」あるいは「神を信じる」という意味です。もっと碎いて言うと「神に甘える」と言ってもいいかもしれません。実は、キリスト教の神髄とは、神様を信頼し甘えることなのです。

4月からまた新たな年度がスタートしました。児童養護施設と子ども達を取り巻く社会は増え変化の度合いを強めています。施設長として責任の重さとやるべきことの範囲の広さに押しつぶされそうになることもあります。しかし今年度もその責務を担えるよう、神様を信頼し、甘えたいと思います。

三愛インタビュー

今回から不定期ではありますが、さんあい新聞の新しい企画として職員や関係者へのインタビューを掲載したいと思います。どんな人がどのような想いで関わっているのか支援者の皆様と共有できれば幸いと思います。第1弾は、さんあい創設当初から今に至るまで、職員として労していただいている青木伸恵家庭支援専門相談員（FSW）に伺いました。



名前：青木 伸恵 入職：昭和 51 年



Q1：どんなことがきっかけでさんあい（児童養護の世界）で働くことになったのでしょうか？

小さい頃から保育園の先生になる事が夢でしたが、学生の頃最後に行った障害児施設での実習で初めて「施設で暮らす子ども達」を知り「施設で働く」という仕事に興味を持ったのが始まりです。たまたま、現在の理事長夫妻が新しく施設を開設するため保育士を募集しており、新しい施設をみんなで作っていくという事に魅力を感じ就職しました。

Q2：職業人として一番大切にしてきたことは何ですか？

与えられた仕事に真摯に向き合うという事と、何歳になっても「学ぶ」という姿勢を忘れない事です。

現在 FSW として児童相談所と
家庭とのパイプ役として奮闘中

昭和 51 年創立時職員の皆さん
(写真後ろ右から 2 番目)



Q3：さんあいの歴史の中で、個人的に一番印象に残る出来事は何でしょうか？

開所と同時に3才で入所してきた女の子を中学から高校までの6年間担当しました。高校の合格発表と一緒に見に行って涙したり、退所後も仕事の事や家族の事で相談を受ける事も沢山ありました。入所中の出来事よりも退所後の付き合いの方が濃密だったように思います。現在は卒園生というよりも一人の大人同士の付き合いに変わり時間がある時は一緒に旅行に行ったりもしました。今はお互いに忙しく中々会えませんがこれからも長いお付き合いが続くと思っています。

Q4：児童養護の世界で入職当時と現在で一番変化を感じていることは何でしょうか？

一つは勤務体制です。断続勤務が基本で住込みで仕事をしていました。住込みだった事もあり仕事が終わつた後みんなで2階の食堂に集まり子どもの事や仕事の悩みなど時間も忘れて熱く語っていた事を懐かしく思います。もう一つは入所児童の変化です。私が入職した当時は入所児童の3分の2が幼児という時もありました。また非行傾向の高齢児も多く、夜中まで無断外出をした児童を探し回った事もありました。現在は発達に問題を抱えている子どもや虐待など入所理由もさまざまで働く職員の専門性が強く求められていると感じています。

Q5：長く働いてきた先輩として、若い職員に伝えたいメッセージはありますか？

この仕事はすぐに結果が出るものではありません。小さな感動や喜びを積み重ねながら続けられる仕事だと思います。「子ども達の安心の砦」の1人となれるように少しでも長く続けていただきたいです。

昭和58年 担当児童の
幼稚園運動会に参加



退所した児童が遊びに来てくれ
ました (写真一番右)



さんあい事務所棟工事完了

前回のさんあい新聞でもお知らせしました事務所棟の増築工事が、無事に完了しましたことをご報告いたします。心理室のスペース確保、子ども達の学習スペース確保、会議・面談スペース確保、職員の業務スペース確保、トイレの増設と様々なニーズを、限られた場所の中で全て実現することができました。12月に着工し、4か月間の工事期間を経て、3月29日に引渡し式を行いました。春休みの間に引っ越しも済み、新しくなった事務室、心理室で心機一転、気持ちも新たに新年度のスタートが出来ました。

新 心 理 室



外 観



カウンセリングルーム



観 察 室



プレイルーム



玄 閣



学習室・会議室

学習室・事務所



事務所（専門職）



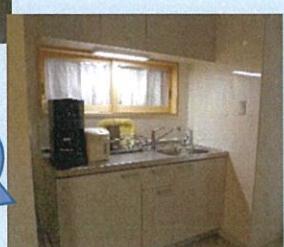
事 务 所



増設されたトイレ



流し台も大きく
使い易くなりました



2019年度 新任職員紹介

4月に入職した8人の新任職員を紹介します。

子どもたちとおしゃべりしたり遊んだりするのが大好きです。色々なお部屋に行くので「とうこさん！」と声をかけて下さい。おいしいご飯が作れるよう、お料理も工夫しますね。よろしくお願ひします。

佐藤透子



食べることが好きで特に辛い物が大好きです。また絵本を読むことが好きで最近は絵本集めにはまっています。わからないことばかりで不安が大きいですが子どもたちの元気に負けないように一生懸命頑張ります！宜しくお願ひします。

山本千夏



趣味は恐竜展や、博物館に行くことです。ケアワーカーとしての業務を早く覚え、元気に楽しくお仕事が出来たらと思っています。立派なケアワーカーになれるように頑張ります。よろしくお願ひ致します。

長尾風花



ファミリー・ホーム 三愛茜の里

振り返れば、4年の歳月が過ぎ、その間3名の委託を終了し一時保護児童6名、4名のショートステイを受けました。現在は、6名の子どもたちが暮らしています。

この春、事業名を「三愛 茜の里」に改名しました。また、ガス給湯器エネファームの導入を計画しましたが、共同募金会の助成が決まりましたことを、ご報告いたします。

ここに至るまで皆様に沢山の支援を賜ったことに深く感謝いたすと共に、これからも地域に根ざしたホーム運営に努めていきます。暖かく見守っていただけたら幸いです。

よろしく
お願ひます

趣味は水泳で暇があれば泳いでいます。一時間キックしながら喋ったり軽いダイエットも兼ねて泳いでいます。気が向いたときはピアノも弾きます。分からない事ばかりですが頑張ります。よろしくお願ひします。

羽根田奈々



運動が大好きです。柔道、空手をしていました！趣味は、サイクリング、釣り、ジグソーパズルなどたくさんあります。早く皆さんと仲良くなって、楽しく元気に過ごしていきたいと思っています！よろしくお願ひします！

金子一成



食べる事と身体を動かすことが好きで、スポーツの中ではバスケが得意です。趣味は、ドライブとお笑い鑑賞です。分からないことばかりですが、精一杯頑張りたいと思いますのでよろしくお願ひします。

佐藤真美



暖かい日に窓際で、日向ぼっこすることと、ぬいぐるみ集めが最近のマイブームです！上手くはないですが、絵を描くことが好きです。

お仕事、精一杯頑張りますので、よろしくお願ひします！！

加藤美香



趣味は映画鑑賞、ピアノを弾く事と期間限定のものが好きです。性格は少し人見知りで、好き嫌いがはっきりしています。今年一年は社会人の基本となる挨拶と言葉遣いを意識して生活したいと 思っています。よろしくお願ひします。

雑賀由佳



お 願 い



毎年恒例のさんあい祭り(5月26日(日)開催)でバザーを行います。

ご家庭で使わない日用品や寝具、洋服やバッグなどがありましたらご寄付をお願い致します。

野菜収穫体験

いつもお世話になっているセカンドハーベストさんからのご招待で4/4、群馬県富岡市にある農園まで野菜の収穫体験に行ってきました！説明を受け、いざ収穫！たった30分程でなんと1000本の人参を収穫することができました。この人参、とっても甘いんです！その後は皆でカレーを作りて食べました。皆で採った野菜が皆の成長の糧に！これで新年度も頑張れます☆このような貴重な機会を与えて頂き感謝です。

(河村)

ひのきの引っ越し

今まで心理室だったホームへと新たな生活の場へお引越し。家具なども全て移動したので大忙でしたが、皆さんに協力して頂いたおかげで無事引っ越しを終えることができました。子ども達が、新しいひのきに愛着がもてるようになることを願っています。安心して生活を送れるように、ひのきの職員として今後も努力していきたいと思います。

(増子)

夏みかん

さんあい駐車場の夏みかんの木に沢山の実になりました。「ミカン狩りに行こう！」と子ども達を誘って収穫しました。肉厚の皮を細く切りそろえて数回お湯で灰汁を取り砂糖で煮込み天日にさらし仕上げにもう一度砂糖をまぶしピールの出来上がり。苦みがありますが一つ食べると口の中がさわやかになり大人の味です。果肉はジューシーでぷちぷちとはじける触感がおいしいです。子供たちはやっぱり果肉の方を好みます。

(野田)

いちょうの広場



事務室の引っ越し

事務所棟の増築工事と共に、既存の事務所棟の中も改装しましたので、長年住み慣れた事務室から、今までの会議室を改築した新しい事務室へと小移動しました。ほんの何メートルの引っ越しでしたが、年度末の書類の山と共にデスク3台、書類のファイルの詰まったキャビネット5台の移動は予想を超えた重労働でした。フリーデスクとして置いてある隣のデスクに、私の書類が侵食しないように気を付けつつ、今までよりも広くて日当たりの良い事務所でお仕事頑張ります。

(松本)

心理室の引っ越し

今回の事務所棟の増築工事で、心理室が増築されました。今まででは皆が生活しているホームの一つを心理室として使っていました。心理の場として隣室の声が聞こえるのは良くないとはわかっていますが、子どもたちの賑やかな生活の声が聞こえなくなるのは少々寂しく感じます。真新しい心理専用の部屋へと引っ越し、片付けも終わり、心機一転スタートします！

(天田)

入学式

4月8日、寒の戻りで会場には暖房が入れられていましたが、新入生たちはみんな元気でした。さんあいから小学校に入学したSちゃんも笑顔で式に参加しました。農村地帯で年々入学する子が減少しており、来賓の数の方が多い状況でした。子ども達は来賓の多さに圧倒されましたが、来賓の中には駐在所の警察官の方、交通指導員、児童委員等、真摯に新入生たちの安心・安全を守って下さる方々がおり、みんなの入学を祝福してくれました。

(ブログより)

～～～いつも暖かいご支援ありがとうございます。～～～

*ご寄付は右記の口座にお願いします。連絡先を入れて下さい。埼玉りそな岡部支店 普〇〇588888

編集後記

約4か月にわたる事務所棟の増築工事は、予定通り3月末に無事に引き渡しが行われ、年度末の忙しい中ではありましたが、それぞれの場所への引っ越しも終わり、安堵しているところです。ご協力頂きました関係者の皆様に感謝いたします。さて、平成も残りわずか。新しい時代が始まることへの皆様の思いも様々かと思います。昭和、平成、令和を生きる私の最近の一番嬉しくて、びっくりしたニュースは次の一万円札に、深谷市民であれば知らぬ人はいない渋沢栄一氏が選ばれた事です。今から新一万円の発行が楽しみです。

(広報タスク一同)